

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	②	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R13	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽樹の管理(除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理を継続して行っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の目的である魅力的な観光地としての景観形成を図られたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
1	③	瀬長島環境美化強化事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化作業を行う。	瀬長島における広場等の環境美化実施	来島者に対し、観光地としてふさわしい景観形成と感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 来島者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
1	④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎美らSUNビーチにて遊泳エリア等の環境改善を図ることを目的に、航路浚渫の設計業務を行う。	・設計業務(航路浚渫) ・海浜公園指定管理者等の関係機関との調整	設計業務(航路浚渫)の完了	【今後のスケジュール】 遊泳エリア等の環境改善・施設整備に向けた航路浚渫工事及び磁気探査業務  【R5成果目標】 ビーチ利用者人数:20,000人	R5成果目標については、過去のビーチ利用者数に基づき設定した。 【実績】 平成28年度:20,433人 平成29年度:21,215人 平成30年度:13,198人 令和元年度:15,501人

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	豊見城市観光PR事業	R4	首都圏及び地方大都市で、駅構内での物産展やトレインジャック広告、特産品の配布、本市に関連するノベルティの配布等を行い、豊見城市の更なる認知度向上を図る。	首都圏及び地方大都市にて物産展等を行う。	実施場所における来場者数 札幌 5,000名以上 大阪 5,000名以上 首都圏 7,500名以上	【今後のスケジュール】 全国的な知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。  【R5成果目標】 令和5年度入域観光客数 710万人	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:1名 (就学前)	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者や保育士等の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R13	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者に対し利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。 対象人数:182人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が「負担が軽減された」と考えられる値として設定した。 また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	R4事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ細								
2	③	障害児保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	加配保育士配置数 <u>79</u> 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</li> <li>・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士等の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)</li> </ul>	<p>【今後のスケジュール】 加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加配保育士の対応への満足度 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。</li> <li>・加配保育士の配置割合 過去の実績を参考に設定した。</li> </ul>
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:29人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にある事から、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。
3	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校の教諭の補助として学力向上推進補助員を配置し、個に応じたきめ細かい支援を行うとともに、学力調査を年1回実施し、学力到達度を確認・授業改善へ繋げることで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人 全国標準学力調査の実施 小1～中2:年1回 学力調査の実施 中3:年1回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.8ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	支援対象ケース改善率:48.4%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	学習支援補助員を3人配置する。 適応指導教室:2人 中学校:1人 登校支援員を小学校8校に1人ずつ配置する。	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。	不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もある事から、切れ目なく継続した不登校対策が必要。
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)を市内3中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師(JTE)を市内8小学校に派遣する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そうは思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてJTE派遣に対しマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	R4成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の育成を図るため、ICT機器の追加整備及び情報教育指導補助員を派遣し、ICT機器を活用した授業を支援する。	情報教育指導補助員派遣:5人 児童生徒学習用端末整備:213台 電子黒板&教師用端末整備:各5台 学習用端末充電保管庫整備:4台	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。  ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R4年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。  ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が90%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	令和4年度以降のアンケート結果割合の平均値が90%以上となるよう継続支援を行う。
3	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費補助費の一部(航空運賃し80%)を補助	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、県外の児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。	アンケートを実施し、視野が広がったか(80%を目安に)調査する。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内中学生から選抜された青少年リーダーが海外(ハワイ州)との交流を通して、国際的視野を広め、能力の向上に取り組むことで、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図る。	・市内中学生20名を対象にハワイ州の青少年団体とのオンライン交流等を行う。	事業実施後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラム実践していく。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持たかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
3	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効果のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信 1,025件 地域資料収集作業 5地域 歴史資料の電子化 80,000点 電子地図系コンテンツ作成 4件	webサイトアクセス数 60,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 5種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数60,000回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	成果目標値は類似機関と市公式ホームページ(文化課担当)等の年平均アクセス数より平均値を積算して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。



## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)			
4	②	歴史・文化企画展開催事業	R4	豊見城市の戦後史を中心に企画展を開催し、文化振興や観光振興に寄与する。	企画展の開催:2回 巡回展の開催:市内5施設	企画展1回あたりの来場者数 683人	企画展の開催 年2回 平均来場数 680人以上  作成したパネルは小中学校や市内施設に貸し出しを行う。	新型コロナウイルス感染症流行のため、R2～3年度は企画展の開催中止や、大幅に来場者数が減少したため、H29～R1年度の3か年を平均値を設定した。
4	③	組踊学校鑑賞事業	R4	組踊を小学校4校で上演し、組踊の普及・継承を図る	組踊鑑賞会の実施:4校	市内4小学校の対象児童数 延べ835名(高学年対象)	【今後のスケジュール】 R6年以降に進級した児童を対象に学校組踊の上演を検討する。	市内4小学校の4年生～6年生を対象に設定した。新型コロナウイルス感染症の予防状況によっては対象児童の変更はある。
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1～R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更 プロチームへの誘致活動 環境整備のための要望調査 県内の先進自治体視察及び情報収集 サッカーゴールの追加整備	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	【今後のスケジュール】令和5年度以降指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R4成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	②	豊見城市民体育館機能強化事業	R4 ～ R4	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設など、施設の機能強化を行い、ナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催などのスポーツコンベンションの誘致を促進し、観光振興を図る。	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の実施	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了	【R5以降成果目標】 ・スポーツコンベンション誘致件数:3件/年  【今後のスケジュール】 令和6年(2024年)デフバレー世界選手権の誘致に向けて活動する。	【R5以降目標設定の考え方】 令和5年度以降、合宿誘致を実施し、チーム合宿による誘客による観光振興の成果目標とする。
5	③	低炭素社会構築事業(都市公園等省エネ設備導入促進事業)	R4	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、都市公園内の照明灯等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。	実施設計の実施工事の実施	実施設計の完了 工事の完了	【R5成果目標】 本市の都市公園の消費電力(排出される温室効果ガス)を65%抑制する。  【今後のスケジュール】 R4:実施設計完了 R4:整備工事	【R5成果目標設定の考え方】 ・外灯のLED化により約80%の抑制が図られる。 ・管理棟などの建物の消費電力があり、これらは変化がない。 ・外灯と建物などのその他消費電力を加味しておおむねの数値として65%とした。
6	①	自主防災組織・自治会防災対策事業	R4 ～ R8	島しょ県という地理的要因により、災害時に県外からの物資供給や人的支援の遅れが想定されることから、市内を訪れる観光客分の備蓄食料を整備し、防災力の向上を図る。	・観光客分の備蓄食料 9,445食	観光客避難者向けの備蓄 ・R4年度備蓄食料 備蓄率100%	【今後のスケジュール】 令和5年度以降は、自主防災組織、自治会への補助をおこない、本市の防災力向上をはかる。	【成果目標設定の考え方】 想定される観光客避難者数に対して、備蓄食料の提供が途切れることのないよう、備蓄率の最大値(100%)を目標として設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。